

# 「なごや東山の森づくりの会」 定例会報告 2012.1.10 (水谷)

日時 2012年1月8日(日) 10:00~14:00 天候:晴

活動場所 うるおいの森(南部東山)天白溪湿地

作業 湿地の修復、雑木林の手入れ、周辺の草刈りなど

集合場所 東山テニスセンター南、ユウカリ畑臨時駐車場

参加者 会員21名、子ども3名、合計24名

○雲ひとつない快晴、風もなくこの時期としては珍しい絶好の森づくり日和となりました。

○「おめでとうございます、今年もよろしく!」の挨拶とともに中西リーダーから昨年末の東山再生フォーラムの結果を受け今年はまだに協働の再確立が問われる年です、との挨拶あり、猫が洞池のごみ拾い等伝達事項の後、今日の作業の説明がありました。

多くの生物の生息地であり四季それぞれに風情ある貴重な天白溪湿地の中央部が、昨年末、原形をとどめないまでに掘り起こされ、見るも無残に変形されてしまったので、今日はそれを出来るだけ原型に戻す作業、並びに周辺の雑木林、草刈りを行うことが説明され早速現地へ直行しました。

○作業現場で目にした光景に皆唖然とするばかり、何の目的で?と憤懣やるかたない気持ちを抑え、早速スコップ隊、土嚢部隊、雑木林手入れ、草刈り隊に分かれ作業を開始しました。

掘り返され動かされた土の量の多さを前に、今日の数ではたしてどこまで修復できるかと不安を感じつつ、とにかく目の前の土手をスコップで崩し、掘り下げられた穴に埋め込む、逆に削り取られたあぜ道には今作ったばかりの土嚢を積み上げ土をかぶせるといった作業が2時間余、お昼頃には思ったより早く以前の姿に近づきました。

○これに気をよくし午後、さらにひと頑張り、これなら、と云うところで修復作業は終わり、並行して行われた周辺林の危険木の除伐や湿地(目下乾燥中)の草、ササ刈も順調に予定を達成、見晴らしもよくなった時点で本日の活動は打ち止めとなりました。



(左) 掘り崩され積み上げ  
(右) 作業の結果ほぼ元の形に。生き物が帰るのは何時でしょう?

(下) 正月早々の土木作業した。



(左右) 湿地を狭めるササや灌木を  
除伐して再び広々とした明るさを取り戻しました。

